

# 北海道 温泉の旅



北海道はデカイ！  
山も良い！  
ヒグマもいる！

北海道は  
食べ物が美味しい！  
鮮度も抜群！

ビールもウマイ！  
北海道でしか  
飲めない！

温泉もサイコー！  
しかも安い！  
あるいはタダ！

## おまけ —北海道固有の花—



メアカンキンバイ



ホソバウルップソウ



チシマクモマグサ



クモユキノシタ



キバナシオガマ



スガワラビランジ

←ニペソツ山にのみ  
咲くと言う伝説の花  
スガワラビランジ(ヒダカビランジ?)

北海道にはたくさんの魅力がありますが、温泉もその一つ。北海道ならではの温泉も数多くあり、無料もしくは格安で入浴出来る事が多いのも特徴です。そんな中で私が入浴した事のある温泉をいくつか紹介してみたいと思います。

なお、特に温泉フリーク、秘湯マニアではありませんので詳しくはありません。

マップに符ってある番号は、おおよその温泉所在地を示してありますが、地理を含め若干の位置の相違はご容赦下さい。それでは行ってみよう！

羅臼セセキ温泉にて  
By countryboy

**1 小樽温泉**

新日本海フェリーターミナルビル内にある温泉施設。5階（女湯は4階）にあるため、小樽港を一望。船便に合わせ早朝4時から営業。ミストサウナあり。フェリー利用客割引で500円。再入浴も可能で乗船前の時間調整に便利。

**2 ニセコ五色温泉**

山あいにある閑静な温泉旅館。男女別の内湯と露天風呂が大小各二箇所ずつ。ニセコアンヌプリが眼前に広がり、雄大な景色を眺めながら入浴出来る（ただし羊蹄山は望めない）。入浴料は600円。同敷地内に源泉があり見学出来る。

**3 蟠溪温泉オサル湯**

長流（おさる）川の川岸に湯穴があり、その底から熱い湯が湧いている。写真の湯船のほか、川原には石を積んだ湯船が点在し、それらを直し、川の水を引いて湯温を調節して入る。増水時は川底へ沈む。入浴は無料で脱衣所等はなし。

**4 初山別温泉岬の湯**

天文台、キャンプ場などがある、みさき台公園の一角にある。打たせ湯やジャグジーなどの浴槽や、日本海を見渡せる露天風呂を備えた温泉施設。利尻島も見え、朝6時から朝湯も営業。料金は500円。

**5 浜頓別温泉ウイング**

炭酸水素イオン含有の泉質で、同泉質では別府温泉に次ぐ国内2位の湯との案内書き。露天風呂はないがクッチャロ湖を望む内湯。この湯は素晴らしく、北海道の温泉の底力を痛感。写真は隣接するキャンプ場（200円）。入浴料は500円。

**6 中岳温泉**

旭岳の中腹に湧き出る湯。湯船は浅めで足湯としての入浴が一般的な様子。私は全身入浴するつもりだったが女性が含む先客が足湯しながらランチしていた為、不発に終わっている。もちろん無料。

**7 吹上露天の湯**

ドラマ北の国からに登場して一躍人気が出たと言う十勝岳中腹、望岳台から少し上の白銀荘近くの標高1000mの森の中にある温泉。大小二つの湯船あり、源泉は熱めな様子。私の入浴時は貸切だった。入浴料は無料。

**8 十勝岳温泉凌雲閣**

標高1280m、道内では高地の温泉。内湯は2種類の源泉で大きな岩を配した作り。露天風呂からは十勝連峰？の山を眺められる。露天からのロケーションは良い。通年営業の宿。外来入浴は800円。

**9 層雲峡温泉黒岳の湯**

層雲峡温泉街にある公共入浴施設。サウナ、水風呂ありですが、露天風呂が若干小さく感じる。料金は600円。筋肉痛に効果がある温泉らしい。他、ホテルなどで日帰り入浴も可能ですが若干高い。写真は無料で入れる足湯です。

**10 大雪高原山荘**

標高1350m、冬期は休業する山の中の温泉宿。乳白色の硫黄泉、露天風呂、風景とも文句なしの湯。料金は700円。大雪山系の登山口にもなっている。私は営業最終日に貸切で入れたが、人気は高いらしく紅葉最盛期にはマイカー規制が行われる。

**11 岩間温泉**

石狩岳の山中にあり、音更川を川渡りして辿り着く、北海道では有名な秘湯。写真以外にも湯船がいくつかあり、中には源泉が異なる湯もあるらしい。脇を流れる音更川で釣りも可ですが、私は釣れなかった。入浴料無料。

**12 むかびら温泉中村屋**

糠平温泉郷の老舗温泉宿。溪流沿いの露天風呂（混浴）の雰囲気もグッド。主人の人柄にも定評あり。熱めの源泉掛け流し、加水なしなので夏の日中の入浴には熱い印象。入浴料は500円。

**13 然別湖氷上コタン温泉**

1月末から3月まで氷結した然別湖上に開催される冬の一大イベントの氷上コタン村。次ページに特集を記載。

**14 十勝川温泉**

太古の植物が堆積した亜炭層から湧き出るモール温泉は世界的にも珍しいらしい。美人の湯とも呼ばれる赤褐色の湯はすべすべ。北海道遺産に認定されている湯。宿泊した宿は循環式の湯でしたが、十分満足。日帰り入浴は1000円。

**15 新冠レ・コードの湯**

競走馬の聖地にあるログハウス作りの大きな温泉宿泊施設。露天は草原と海方面に面しており、眺めは良いが牧場は望めない。朝5時から朝湯営業していて朝一番で入った。入浴料は500円。近くに静内温泉あり。

**16 三石昆布温泉**

三石海浜公園、オートキャンプ場隣接の、恐らく比較的新しい大きな温泉宿泊施設。設備も良く料金も安い、一説によると温泉ではないという噂も。夏場は海水浴客で賑わう様子。入浴料は390円。

**17 網走温泉**

網走湖を一望する温泉地は湯の町と言うよりリゾート地の雰囲気漂う。二軒の宿で入浴経験があるが、どちらも浴場の作りや付属設備、サービスに力を入れている印象を受けた。入浴料は500~1000円。写真は網走監獄の囚人風呂。

**21 イソ湯**

湖畔の岩の割れ目が天然の湯船になっていて、適温の湯が湧いている。湖面とほぼ同じ高さなので、まるで湖に浸かっているような感覚になる。開放的なロケーションだが観光客が来にくい場所なので日中に入浴も比較的容易。料金は無料。

**25 ウトロ温泉国民宿舎桂田**

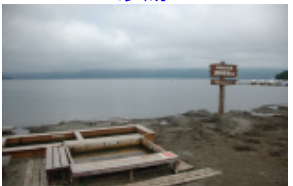
こじんまりした和風の宿の温泉。目の前にオホーツク海が広がり、露天風呂から眺められる。海に落ちる夕日や、冬期に見れる流水にも定評があるらしい。料金は500円。ウトロの温泉はオホーツク海に面した作りが多く、またどの宿でも料理に定評がある。

**28 セセキ温泉**

海岸に突き出た岩礁に湯船が二つあり、湯温は適温だが、満潮時には海中に沈んでしまう。晴天時は国後島が間近に見える抜群のロケーションを誇る北海道でも有名な温泉。個人宅私有地にあるため、番屋の方に一声掛けてから入浴する無料(寸志)の湯。

**18 オンネット温泉京福**

湯船の底の小石の間から噴出する透明な湯の内湯と、広々とした半混浴露天風呂はかすかに石油臭が漂う乳白色の湯。入浴料は300円で石鹸等はなし。隣にある野中温泉も有名で雌阿寒登山後の立ち寄りに便利だが、どちらも湖とは距離がある。

**22 砂湯**

湖畔の砂地を掘れば温泉が染み出してくる。ただし、肩まで浸かるほどの深さまで掘ることは困難。コンクリートの湯船もあるが、観光客も多く、日中の全身入浴は覚悟が必要で、足湯としての利用が一般的な様子。利用は無料。

**26 岩尾別ホテル地の涯**

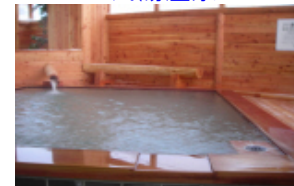
羅臼岳の登山口となる岩尾別のホテル地の涯。内風呂はタイル貼りのゆったり湯船、野外には丸太をくり貫いた源泉風呂、岩を配した巨大な露天風呂などがあり、知床の秘境風呂を満喫出来る。外来入浴は500円。

**29 養老牛からまつの湯**

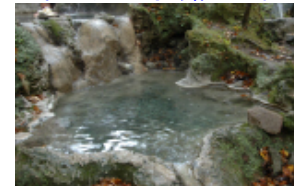
養老牛温泉街の奥のパウシベツ川沿いに沸く野湯。石を積んだ湯船には激アツな湯が注がれているので、バルブを開けて水をいれて湯温を調整する。脱衣所は男女別だが、小さな湯船は混浴で女性の入浴は厳しいかも知れない。入浴は無料。

**19 和琴温泉**

和琴半島の付け根にあり、そら豆型の大きな湯船で、小石と砂の湯底から温泉が湧き出している。日中に入浴は覚悟が要るが、夜や早朝は入浴客で賑わう様子。夏場は一部で藻が発生するが石油臭のする湯は悪くない。料金は無料。

**23 川湯温泉**

泉質は硫黄泉、明ばん泉、その混同など、宿によって微妙な違いはあるようですが、天下の名湯・草津温泉が引き合いに出されるように、強酸性の湯は北海道随一とも言われる北の名湯。湯量も豊富。外来入浴は500円~。公衆浴場は200円。

**岩尾別温泉 露天風呂**

温泉の流れる川が岩の窪みに流れ込み、それが天然の湯船、三段の湯となっている。奥に女性優先の滝見の湯もある。写真は一番下の三番目の湯船。地の涯の敷地内にある無料の露天風呂。入浴者以外の観光客も多く、さすがは世界自然遺産知床。

**30 川北温泉**

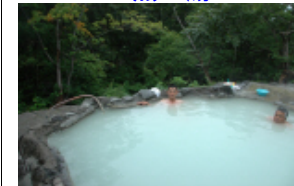
保養所の跡地に残った湯船を利用して、地元有志が脱衣所などを設置し復活させたと言う温泉。熱めの乳白色の湯は飲湯も可能。湯温は沢の水で調節される無料の湯。たまにクマも出るらしいが、湯は素晴らしく、復活させたのも納得の名湯。

**20 コタン温泉**

屈斜路湖の中で最も人気が高く、北海道でも有名な温泉。中央の岩で男女を区切っているが丸見えで実質混浴状態。かすかに石油臭が漂い、湯冷めし難い温かな湯。冬は白鳥を眺めながら入浴出来る。料金は無料、管理人さんに感謝しマナーを守って入浴。

**24 川湯温泉 足湯**

川湯温泉街のメインストリートにある足湯共同浴場。川湯の良さが無料で楽しめる。付近一帯は一大温泉街になっており、他にも無料解放された足湯が何ヶ所もある。阿寒湖温泉ほど俗化されておらず、リゾート感を良い感じで取り入れた温泉地の印象。

**27 熊の湯**

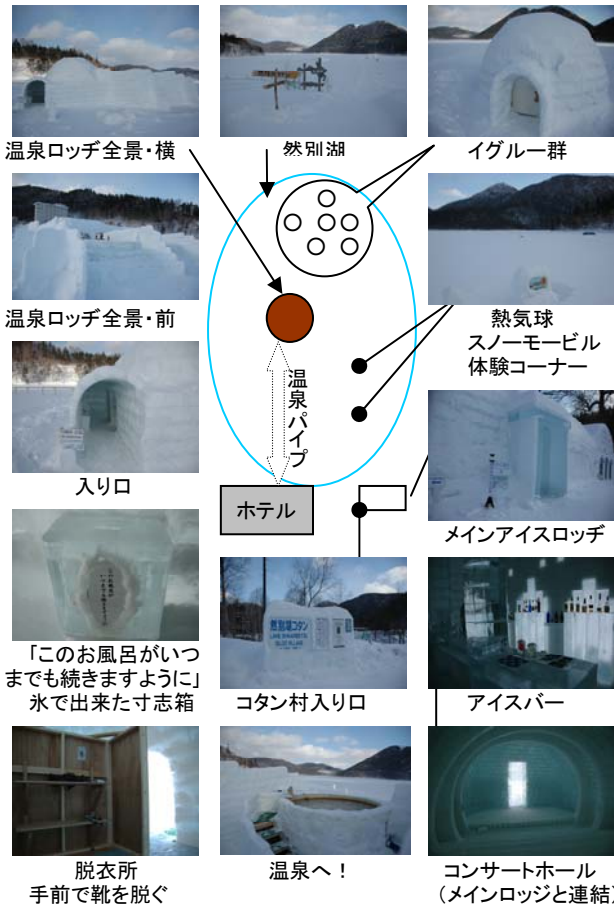
地元の漁師さんや観光客でいつも賑わっている人気の温泉。お湯が熱いと評判らしいが、それほど熱くはないと思う。色は透明だったり白かったりするらしい。入浴は無料で道路向かいにあるキャンプ場も人気。個人的には知床で一番好きな湯。

**★さと爺さんの選ぶベスト5★**

・ヌブントムラウシ温泉  
・岩間温泉  
・養老牛からまつの湯  
・和琴半島最奥の名も無き湯  
・然別峡鹿の湯  
など興趣溢れる湯が好きとの事で、ご自身で入られた沢山の中から挙げて頂きました。写真は09年8月に和琴半島にて

## 然別湖水上周辺温泉

然別湖水上周辺温泉マップ（注：実際の湖はかなり大きい）



1月20日から3月まで、氷結した然別湖上に開催される冬の北海道の一大イベント。宿泊体験も出来るアイスロッジが立ち並び、アイスパーや（自作の水グラスで飲める）、熱気球体験、スノーモービル体験や雪上ハイキングなど様々なイベントが催される。中でも最大の目玉は世界唯一の氷上露天風呂。

赤茶けたあたたかい湯は鉄分を豊富に含む含重曹食塩泉。それが湖畔のホテル風水よりパイプで引湯され掛け流しされる（その場で掛け流してしまおうと大変な事になるので、パイプで再び戻って行く仕組み）。湖中央方面に向かって開ける露天風呂は開放感も抜群。円形のFRP製湯船は深さも十分あり、心ゆくまで氷上露天風呂を楽しめる。

温泉ロッジ内には脱衣所と風呂が二ヶ所。基本的に日中はどちらも混浴となっており、夕方から男女時間入れ替え制となる。マイナス10度以下のシバラレの中、冬の北海道を代表するこの氷上露天風呂を楽しみたい。

入浴料金 無料（寸志）  
営業時間 06:30-22:00 女性専用（20:00-22:00）



私の北海道デビューは08年8月（36歳の夏）と遅かったのですが、そこで北海道の魅力にドップリはまってしまい、現在までに5回訪れています。確かに温泉自体が観光になる事も有り得ますが、片っ端から温泉を巡るような無茶なマネはせず、山やハイキング、観光などの帰りに近くの温泉に寄ってみる、あるいは温泉のあるキャンプ場に泊まる（温泉に隣接したキャンプ場も多い）、など、一日に1、2回ほどの温泉をオマケとして楽しんでいます。

もっと激しい秘湯とか、道なき道を進んで辿り着くワイルドさを求めるのも北海道ならではの！かも知れませんが（地元のマニアしか知らない野湯が山ほどある）、チョット奥に入ればたちまちクマがうろつく秘境になっちゃう北海道。一般的に知られた野湯でも、大概はロケーションに優れ、秘湯の雰囲気もバリバリに漂わせており、その辺の茂みにはわけのわからないケモノが潜んでいそうな、そんな北海道ならではの温泉が十分に楽しめると思います。

今年の夏は山と温泉を楽しみに北海道へ行こう！皆で行けば費用も安い！きっと若〇さんがビッグなウニ丼を！誠〇さんが豪華新鮮海鮮丼をご馳走してくれる！…かも知れない。さらには本州にない貴重な花もいっぱい見られる！可能性もなくはない…。そして！夏の中間で行っておられるサ〇翁さんのウンチクも久しぶりに聞ける！しかも存分に！

寒い季節は温泉に限るね！っという訳で、まだ北海道デビュー2年目の若輩ではありますが温泉特集を作ってみました。これで北海道の温泉に興味を持ったり、参考、または良い刺激になったりすれば幸いです。また、意見を頂いたサト翁さんに感謝申し上げますと共に、一部に見苦しい写真があった事をお詫び申し上げます。 By マッケン



ちなみに、今までの北海道で一番良かったのは、冬期旭山動物園のペンギン君野郎の散歩だったりなんかしちやったりして